

伝えよう～！美鳩小学校「学習発表会」

11月19日(金)、20日(土)に美鳩小学校で、新校舎に移って初めての学習発表会が感染予防の為、保護者は20日(土)のみの入れ替え制で開催されました。内容は、「大好きな美鳩小学校や学習の様子」「自分たちが暮らす中野区や日本の文化」「コロナ禍で中止になった地域の伝統、高円寺阿波踊り」「オリンピック・パラリンピックの競技や選手の夢を叶える為の努力の大切さ」など、どの学年も今まで学習してきた事を伝える為にスクリーンや小道具を使い、手話・踊り・演奏・歌・クイズなど、様々工夫しながら、分かりやすく表現されていました。舞台上での表情は、笑顔や緊張する姿でワクワク、ドキドキする様子が感じられ、一生懸命取り組む眼差しは、とても輝いて見えました。子供たちの願い、希望、平和への思いと、しっかりとした考え方や発信力が学びの成果として伝わり、心に響く素敵な学習発表会となりました。(吉田)



「大和地区合同防災訓練」開催

11月28日(日)2年ぶりの地域合同防災訓練を、中野区立美鳩小学校の協力と大和区民活動センター職員と中野区防災危機管理課、野方消防署、野方消防団第五分団の支援を得て、大和町5町会と都営大和町4丁目アパート自治会が参加して、09:00より70名あまりの参加者により開会式が始まりました。今回の訓練は参加者数を絞り、災害が起きた場合に避難してきた人たちのリーダーとして、設営して貰うことを考慮して実施しました。参加者は、3つのグループに分かれて、体育館での間仕切り作り、校庭でのマンホールトイ作り、そして煙体験と起震車体験の3つを体験して回りました。11:00に体験は終了して閉会式に移り、11:30に解散となり、無事合同防災訓練は終了することが出来ました。



*皆さんの「お楽しみ」原稿をお待ちしています。
応募ご希望の方は、事務局へご連絡ください。



皆さんも始めてみませんか？もう歳だからと自分自身に限界を作っていますませんか？どんな事でも楽しむといふ気持ち。新しい世界を知るという好奇心。常にチャレンジ精神を持続続け、キラキラと人生を輝かせて生きて行きたいものです。

周りを見渡すと小さな幸せがいっぱい。そんな事を題材に、今日もせつせとインスタ投稿。
古希を迎えて、インスタデビュー
コラム「私のお楽しみ」⑨
河村眞弓さん(大和町在住)
70歳の誕生日を迎えたある日、大阪から上京した娘に「これを機にインスタでも始めてみたら?」といきなり背中を押された。かなり迷ったが、教えられるままに無料アプリを取り込み、インスタグラムの世界へ。三日坊主で終わると思いきや、やり始めるところが楽しい(笑)。それは私の拙い投稿を読んだ人から「いいね」の反応があるからだ。
日々の出来事・家庭菜園・今夜のおかず・趣味の神社巡り等等、気負わずまるで日記を書く様に投稿を続けた。インスタ仲間からの「いいね」や「コメント」は日々を追うことに増え、今では北海道の旭川・八戸・三重・広島・九州・沖縄・宮古島等々、全国に私の投稿のファンが居る。フォロワー数も600名を超えた。

啓明小学校「緑の学習発表会」

11月13日(児童鑑賞日)、14日(保護者鑑賞日)にて啓明小学校「緑の学習発表会」として、1年生～6年生が学習の成果を発表しました。1年生は小学校に入学してから成長した姿を作品にし、2年生は恒例のすてきなぼうしを制作しました。3年生は半年かけてヤゴについて調べ、4年生はかつて大和町で暮らしていた「棟方志功」について調べ、版画を作りました。5年生はよりよい学校生活のために調べ、6年生は軽井沢移動教室の発表やSDGsについて調べ発表しました。児童鑑賞日では、児童たちが作品を説明しあいながら鑑賞しました。また、95周年を記念して小堀先生が制作した版画を、児童たちに説明する時間もありました。時間をかけて深く掘り下げる学習内容は、児童一人一人が一生懸命取り組む姿が思い浮かぶようなものばかりでした。(吉野)



★4年生が初めての彫刻刀で、棟方志功に挑戦！

児童たちは、棟方志功がすごいスピードで制作する動画を見て、びっくりしたそうです。負けずに初めての彫刻刀で版画に挑戦しましたが、最初はグチャグチャでした。でも、頑張ったおかげで「緑の学習発表会」に「木版／棟方志功にちよう戦」を展示することができました。図工担当の小堀先生は「ここまで子供たちが頑張ってくれたので、ホッとしています」と笑顔で話してくれました。



「令和3年度第1回合唱コンクール」開催

記念すべき第1回明和中学校合唱コンクールが、10月30日(土)になかのZEROホールにて開催されました。緊急事態宣言明けからの合唱練習開始で、正味2週間の短い練習期間、そして不織布マスクをつけての練習、本番となりましたが、どのクラスも素晴らしい歌声を聞かせてくれました。コロナ禍での開催は大変だったと思いますが、次年度に繋がる歴史を残すことができました！部活動では、ソフトテニス部が団体で都大会出場。バレーボール部が新人大会で、都大会出場。野球部が、秋季新人大会で第2位となりました！今後も活躍が楽しみです。(伊藤)



「啓明スポーツフェスティバル」

晴れ渡った空の下、11月3日(水)に「啓明スポーツフェスティバル」を行いました。9月の緊急事態宣言により11月に延期しての開催です。昨年に続き学年ごとに30分ずつの開催ではあります、「啓明ダンス2021」「短距離走」「全員リレー」の3つを生徒たちは一生懸命に取り組んでいました。銀河鉄道999にのせたアップテンポな「啓明ダンス2021」は、同じダンスにもかかわらず学年ごとに特色を出し、別々でありながらも一体感のある仕上がりとなっていました。6年生は、他の学年の短距離走やリレーで旗振り・タンバリンによる応援や運営の手伝いを行い、スポーツフェスティバルを盛り上げてくれました。6年生の回での、全ての生徒が屋上や校舎の窓から応援する姿は、全ての学年が一体となり圧巻の光景となりました。来年こそは、例年通り全ての学年が関わりあう運動会が開催されることを心から願っております！

企画・運営していただいた先生の皆様、お手伝い頂いた保護者の皆様、ありがとうございました。(吉野)



美鳩小学校「秋の運動会【競技の部】」

10月23日(土)に美鳩小学校で、5月に行われた春の運動会【表現の部】に続き、秋の運動会【競技の部】が開催されました。

今年はチーム意識を高めるために、青・赤・黄・白の四色で競い合いました。コロナ対策を考えた応援方法や競技は、児童たちの工夫がたくさんつまっていました。今回の運動会では、見ている側も競技をする児童側も、面白く、かつ分かりやすい競技を意識したと櫻井副校長から伺いました。まさにその通り、学年ごとの色別リレー、競技はとても迫力があり、見ている私たちも目が離せなく、力が入りました。保護者の観覧は学年ごとに出入りする形となり、コロナ対策がしっかりされていると感じることができました。新形態での運動会で、たくさんのアイデアを見てくれた美鳩小学校、これからも新しい事にチャレンジし続けてほしいです。(上田)



ご報告します。

東京のコロナ感染者が減り、10月・11月は学校の様々なイベントが再開されました。新しい年は、平穏に過ごしたいですね。

やはた幼稚園「おいもほり遠足」

10月26日(火)に川越へ「おいもほり遠足」に行きました。当日は朝まで雨が降りましたが、バスの出発後には晴天に恵まれ、絶好のおいもほり日和になりました。年中さんは初めてのおいもほり。先っぽだけ顔を出したおいもを見つけては歓声をあげ、掘りあげたおいもを達成感ある表情で眺めていました。年長さんは、傷つかないようによく考えながら、上手に掘ることができます。年少さんへのお土産のおいもも、たくさん採ってくれました。天日干しされたおいもは調理師さんにより、おいもごはんをはじめ、様々なメニューに変身。みんなで遠足のお話をしながら、楽しくおいしくいただきました。(龍太郎先生)



うち保育園なかの大和「ハロウィーン散歩」

10月29日(金)散歩にはもってこいの秋晴れのもと、恒例の「ハロウィーン散歩」が行われました。園児や保育士さんが、コウモリやお化け・カボチャの衣装に着替えて出発です。最初にたずねたのは、園の洗濯物でお世話になっている「都光クリーニング」さん。園児たちが声をそろえて“トリック・オア・トリート！”と叫んで、用意されていたお菓子をいただきました。次に向かった園の前の家でもお菓子をいただき、啓明公園に向かいました。公園では、いただいたお菓子を園児全員に配り、お菓子でポケットをいっぱいにした、園児たちの満面の笑顔でハロウィーンは終了しました。



青少年育成大和地区委員会／主催「ウォークラリー」

開催日の10月31日(日)は雨模様の天気のため、参加者のキャンセルがあり、子供・大人合わせて52名でした。班の数も8班から5班にしてコマ図を持って出発。途中に3カ所のチェックポイントがあり、公衆電話をかけたり、白鷺と白鳥を見分けるクイズなど、みんながんばって挑戦していました。また、観察ゾーンでは中野区と杉並区の区境で、変わったものが何かをゴールしてから出題され、みんな一生懸命思い出していました。参加した子供たちは「初めての場所を冒険みたいに歩いて、楽しかった」「疲れたけど、完歩できて達成感があった。またやりたい」。保護者からは「子供たちの頑張りに力をもらった」など、力強い感想をいただきました。(佐久間)

